

提言、愛教大が優勝

まちづくり、若者未来会議

県内の高校生や大学生が、まちづくりの政策を提言し、競い合う「若者未来会議」が十八日、名古屋市中区の名古屋能楽堂であった写真。日本青年会議所（JC）愛知ブロック協議会が主催し、一チーム二、五人の八チームが参加した。

JC側が、県内の自治体から政策課題のリストを求めた「人口流動

クエストを募った上で、各チームに一つずつ課題を振り分けた。各チームは二カ月かけ、政策を練った。

「若者から選ばれる街になるためには」という名古屋市の要望に応じたチームは、「写真映えのするトリックアートを各地に設置す

る」などと提言。新城市が求めた「人口流動

を繰り返す市が発展するための施策」とし



て、別のチームが「ダンスイベントを開き、会員制交流サイト（SNS）で情報発信」などと語った。

参加者や見学者による投票で、若者と高齢者の交流のあり方を碧南市に提案した愛知教育大チーム（五人）が優勝した。

愛教大チームは、JC愛知ブロック協議会が九月に豊田スタジアム（豊田市）で開く「TSUNAGARUフェスタ2017」の

メイン討論会に招かれ、若者の社会参画をテーマに他の参加者らと語り合う。（谷悠巳）